eS4

エスフォー
EUROMOTIVE MAGAZINE

63

2016 JULY

新感覚でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

WORLD CLASS TUNERS
チューナースタイルが熱くなる!
メルセデス・ベンツS550L / BMW 7er & 7er Li
ポルシェ・マカンターボ / マカン S / カイエンターボ

BMW MAKE THEM COOL!
見つめていたいモディファイドBMW
BMW M3セダン(E90) / 645Ciカブリオレ(E64)
320iツーリング(F31) / 135iクーペ(E82) / M3クーペ(E46)

ALL FOR PERFORMANCE UPGRADE
五感に訴えるチューンド&モディファイド

WHEELS IN STYLE
価値のあるホイール

SUPER SPORT & EXOTICS
このカテゴリーが面白い
アウディR8 4.2 FSIクワトロ / R8スパイダー
ポルシェ911ターボカブリオレ
マセラティ・クワトロポルテGT S

Keep the Safety BIG TURBING

AUDI TT S COUPE

[TOP ISSUE]
AUDI PICTORIAL
絵になるのがアウディってクルマ
アウディTT Sクーペ(8S) / TTクーペ2.0TFSI(8J) / S6(D4)
RS3スポーツバック(8V) / A4 2.0TFSIクワトロ Sライン(B6)
A4 2.0TFSI(B7) / アウディA1 1.4TFSI(8X)

GEIBUN MOOK

ALL NEW COMPLITE CAR "EVO 01.1"

BMWの中でも"孤高"の存在として君臨する7シリーズを、この度エナジーモータースポーツが初めて手がける事に。

7シリーズが持つエレガントさをスポイルする事なくデザインされた造形美にはメッキパーツを新採用。

静寂性の中に漂う研ぎ澄まされた風貌に"オトナの余裕(ゆとり)"を感じて頂ける事だろう。

何故 今7シリーズだったのか? "EVO 01.1"をご覧頂ければ自ずと答えが見えてくる…。

～日常に"非日常"の歓びを～
produced by ENERGY MOTOR SPORT

Made in Japan
ENERGY MOTOR SPORT

F01/02/03/04

ENERGY COMPLETE EVO **01.1**

EVO 01.1 Body Kit●¥780,000+tax

Front Bumper Kit (Incl. Net / Chrome-plated Cover×3)●¥340,000+tax
Side Spoiler Kit (Incl. Right&Left)●for Short Body ¥220,000+tax／for Long Body ¥220,000+tax
Rear Under Spoiler (Incl. Chrome-plated Cover×2)●for Early Model ¥200,000+tax／for Later Model ¥200,000+tax
Trunk Spoiler●¥80,000+tax

www.everyn.com

RAGE EVE.RYN

SETAGAYA SHOWROOM
〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-11-4 TEL:03・3707・3800

OSAKA SHOWROOM
〒580-0012 大阪府松原市立部2-291-1 TEL:0723・39・1760

ERGY MOTOR SPORT_
N TUNER

40i & 750Li
7 MOTOR SPORT EVO 01.1&02.1

RYN（ガレージエブリン）
／世田谷店 (03)3707-3800 www.everyn.com

11 7シリーズがまだ街に馴染んでいない今がチャン
MWサルーンを所有する喜びが存分に楽しめる。

0iエナジーコンプリート
スのF02 750Li。エナジー
ンデイライトが埋め込まれ
備だ。

ガレージエブリンのプロデュースするコンプリートカーがヤバい！ これまで本誌では、エブリンのコンプリートカー・エナジーモーターポーツEVOシリーズを数度取材したことがあるが、購入者たちののめり込み具合がハンパじゃないのだ。エナジーコンプリートを乗り継いで2台目、3台目とか、友達がエナジーコンプリートに乗っていた影響で買ったとか、親がエナジーコンプリートに乗っているから自分も念願のエナジーコンプリートを手に入れたなど、かなり熱狂的なのだ。さらにエブリンによれば、最初のエナジーコンプリートを製作してから約10年間で、累計2500台ほどを販売してきたというが、おそらくこの数字、BMWチューナーとしては日本一。それどころか、世界でも3本指に入るほど圧倒的な数に違いない！

で、5月のガレージエブリンの走行会で披露された最新エナジーコンプリートが、BMW 7シリーズEVO 01.1と02.1だ。BMW F系ではEVO10.1やEVO30.1などに続くモデルで、標準ボディとロングボディLiに設定されるが、エアロの違いはサイドスカートだけ。顔つきとテールなどは基本的に同じとなる。参考までに、正面の2台の写真では、右がEVO 01.1、左がEVO 02.1。カスタマイズで顔つきの違いも出せる。

エナジーコンプリートは、ガレージエブリンがコンプリートモデルのオーダーを受けると、コンディションのよいディーラー車の中古車を選び出し、それにEVOシリーズのエアロ、マフラー、ホイールなどを組み付けていくシステム。オプションでオールペンなどもできるが、内容から想像されるより安くコンプリートカーが手に入るそうだ。

さらにガレージエブリンは車両販売だけでなく、BMWのチューニングも行っているため、車高調やエンジンチューニング系、スロットルコントローラーなどオプションで設定していけるから、コンプリートカーといっても統一仕様ではなく、自分の好みに仕上げていける。そうした部分も、ガレージエブリンが支持される理由のひとつだ。

今回のEVO 01.1&02.1も確実にヒットする予感。この姿が300万円～(年式から程度にもよる)で手に入るのだから、熱狂的なエナジーファンがまた増える！

EVO 01.1のポイントは、新車で1400万円だった存在感あるデザインをリフレッシュさせられること。しかもトータルのお値段は数年前の1000万円安！

W740i ENERGY MOTORSPORT EVO01.1
SPORT>>ENERGY Individual Type 4 F:21×9.0 R:21×10.5
MOTORSPORT>>Spring
ORSPORT>>Muffler Cutter
ORSPORT>>F Bumper/S Skirt/R Bumper/Trunk Spoiler/Optional Stripe

日本最大勢力のBMWスタイリスト
エネルギーみなぎるEVOシリーズコンプリート

ボディにはオプションでストライプとロゴが入る。またボディカラーもオプションでオーダー時に変更できる。

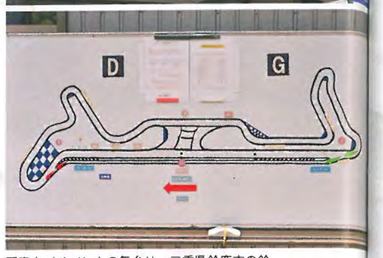
ロングボディの750Li EVO 02.1。搭載されるのは最高出力450psのツインパワーターボエンジン。ロングボディコンプリートのラグジュアリー感は強烈だ。

右のホイールはエナジー・インディビジュアルタイプ3の21インチ、左のホイールがエナジー・インディビジュアルタイプ4の21インチ。車高はエナジーモータースポーツのスプリングで落とされる。

750Liが好みなら、前期型がオススメ。V8ツインパワーターボ・450psが個性的なEVO 02.1のスタリングとともに手に入れられる。なおサイドステップはロングボディ用をセット。

■SPECIFICATIONS_BMW750Li ENERGY MOTORSPORT EVO 02.1
WHEEL ENERGY MOTORSPORT>>ENERGY Individual Type 3 F:21×9.0 R:21×10.5
SUSPENSION ENERGY MOTORSPORT>>Spring
EXHAUST ENERGY MOTORSPORT>>Muffler Cutter
EXTERIOR ENERGY MOTORSPORT>>F Bumper with LED DRL/S Skirt/R Bumper/Trunk Spoiler/Optional Stripe

VE RYN
リンミーティングオフ会2016
@鈴鹿ツインサーキット



写真上／イベントの舞台は、三重県鈴鹿市の鈴鹿ツインサーキット。ここを半日借り切って、ガレージエブリンによるファン感謝デーが開かれた。　写真下／フルコースのレイアウト。全長1750m、ストレートは550mもあるから、BMWを走らせるにはちょうどいいサイズだ。

·コンプリート80台以上の巨大エネルギー

ンのハウスブランド·エナジーモー
るコンプリートカー人気が炸裂して
目を数える「エブリンミーティングオ
80台以上のエナジーコンプリート
集まってきたのだからスゴイ。BMW
たりで、これほど多くのコンプリート
メイクイベントはほかのチューナー
、ガレージエブリンの青木代表に
過去に製作した台数からすれば、少
か。聞けば、これまでエナジーモー
ンプリートされたBMWは、この10
るというんだから!
のガレージエブリンだから、中部地
ポーツのメッカ·鈴鹿ツインサーキッ
のイベント、エナジーコンプリートの
加費用はタダという太っ腹ぶり。
加者に車歴などを聞いてみると、エ
·からエナジーコンプリートに乗り換
いるし、親子でそれぞれエナジーコ
ている人はいるし、さらに最新のエ
·BMW7シリーズ 01.1&02.1の
れるなど、とにかくエナジーコンプ
ギーと熱気に満ちていた。

:.RYN（ガレージエブリン）
世田谷店[03]3707-3800 www.everyn.com
ヨ　VENUE>>三重県・鈴鹿ツインサーキット

①ツーリングカーを思わせるEVO 90.1のコーナリングシーン。ホイールはインディビュルアルタイプ1の19インチだ。②ちょっとビンテージな雰囲気が出てきたE46ベースのEVO 46.2。でもサーキットではこのコンパクトなボディが走りに効く。③出走を待つEVO 90.1。エナジーコンプリートは、どのクルマもオリジナルの姿をよく保っている。④パレードラン的な走行会だから、奥様同乗で走れるのがイイ。中には、ファミリー5人でサーキットラップという人も。⑤サイドビューからEVO61.1を見る。サイドスカートがかなり個性的なデザインだ。⑥Fシリーズらしい新しいイメージのF10 EVO 10.1。ホイールはインディビジュアルタイプ3を履く。⑦なんとこのイベントではサーキット走行ができるのに参加費は無料！　どの参加者も無料イベントを存分に楽しんでいた。⑧エブリンギャルとプチ撮影会！ なにげに楽しいアトラクションになっていた。⑨2トーンカラーのボディがスーパースポーツちっくなEVO 10.2。フェンダーサイドダクトは、あのスーパースポーツ風味!?

写真左／エナジーコンプリート（ビンゴ）大会を盛大に開催。ビンゴの代わりに「コンプリート！」とコールする。　写真中央／レースマシンのラッピングも手掛ける静岡P.G.D.によるラッピングデモ＆体験会も開かれた。デモカーであるEVO.i8などのクロームラッピングもP.G.D.によるものだ。写真右／折りたたみ式自転車やメインテナンス1万円無料券、オイル交換無料券など豪華賞品がたくさん配られた。それでいながら、このイベント、参加費は無料！

OWNER'S TALK

BMW335iクーペ EVO92.1をハイペースで走らせる河内サンは、EVO46.2のE46セダンから乗り換えたというエブリンファン。エブリン歴は5年。「1年半前に乗り換えたこのEVO92.1は、リアのフェンダーやサイドスカートのデザインなど、ヤンチャな感じでなく上品なイメージでコンプリートされた形が気に入りました。エブリンの魅力が詰まっているって感じですネ」

與田サンと真由美サンが楽しむエナジーコンプリートは、EVO60.3。ほかのチューナーコンプリートと比較して、エナジーをセレクト。「E60の白を探していて、ホワイトパールシャインのボディカラーのこのEVO60.3が、まさに気に入ってしまいました。後期型の走行2万kmものでした。エナジーコンプリートは、ベース車両＋150万円程度で購入できるのも素晴らしいところです。友達2人は、このクルマを見て、エナジーコンプリートを買いました。エブリンにはそういう魅力がありますネ」

BMWモディファイ＆チューニングを楽しむ橋本サンは、EVO90.1をベースに着々と手を入れ続ける。「エブリンのFバンパーには現行型6シリーズのLEDデイライトを埋め込んだり、サイドステップはエブリンとほかのブランドの2コ1で作ったり、リアフェンダーは板金で上へ20mmアーチ上げして、横へ10mm拡げています。エナジーコンプリートはワイドフェンダーが似合いますネ！」

ファミリーで参加の安藤サン。奥様も息子サンたちもお気に入りという5シリーズEVO60.3を、サーキットで走らせるのは2回目とか。「ガレージエブリンが素晴らしいなあと思うのは、サーキットを走る機会を無料で作ってくれるところなどです。今日は気持ち良く走れました。ホイールはインディビジュアルタイプ3の20インチ、マフラーは可変バルブ仕様をオプションで選んでいて、サスはKW Ver.2車高調を組みました。あとボディカラーはピンクのパールが入ったホワイトで、ほかのエナジーでは1台もやってないのも自慢のポイントです」

21歳のときに630iベースのEVO63.1を手に入れた永田サンは、生粋のエブリンフリーク。なんと親子でエナジーコンプリートに乗っているんだとか！「父が5シリーズのEVO60.1を買ったときから、エナジーってカッコいいなぁ、と貯金を始めて、1年前に手に入れました。ボディのカッコよさからEVO63.1のカーボンエディションを選び、21インチのインディビジュアルタイプ3を履かせました。BMWは直6という思いから、630にしましたが、サーキットでは気持ちよく走ってくれます」

ちょっと目立つE93カブリオレの奥出サンは、国産ツインターボ車からの乗り換えだ。「同じ3ℓツインターボ車でもEVO93のほうが全然速くて走りもいいです。イジるのが好きなので、フロントはMスポバンパーにハーマンのリップを組み合わせました。リアバンパーはイジる必要ないカッコ良さなので、赤いLEDを入れてナイトライダー仕様にしています。チューニング系では、ビルシュタインB16車高調を入れて、ディクセルのスリット入りローターに交換しました」。インテリアがお祭り仕様なのもイベントの雰囲気に合っていた！

ニューコンプリートモデル登場!

このイベント会場で披露された最新作、7シリーズF01とF02ベースのEVO 01.1とEVO 02.1。エナジーコンプリートらしいアグレッシブな顔付きなのに、上品なテイストを醸し出している。エブリンギャルの右は、7シリーズEVO01.1、左は7シリーズLiベースのEVO 01.1。基本サイドステップの長さが違うだけ。詳しくはP044の記事を参照のこと。

↑エナジーコンプリートがずらっと並ぶ。1つのチューナーでこれだけのBMWコンプリートが並ぶことって、ほかにはない。

関西のオーナーだけでなく、関東からのエナジー乗りも集まって来た。参加人数は250人以上。